

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2004-509751(P2004-509751A)

【公表日】平成16年4月2日(2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-013

【出願番号】特願2002-530421(P2002-530421)

【国際特許分類】

B 01 J 20/06 (2006.01)

C 02 F 1/28 (2006.01)

B 01 J 23/745 (2006.01)

【F I】

B 01 J 20/06 Z A B C

C 02 F 1/28 A

C 02 F 1/28 B

C 02 F 1/28 K

C 02 F 1/28 P

B 01 J 23/74 3 0 1 M

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月16日(2008.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 媒体が貫流することができる装置において、該装置が元素Al、Mg、Tiの酸化物および／または(オキシ)水酸化物により凝固される酸化鉄および／またはオキシ水酸化鉄からなる塊状の吸着媒体／反応媒体を含有することを特徴とする、媒体が貫流することができる装置。

【請求項2】 請求項1記載の装置を有する水処理装置。

【請求項3】 吸着媒体／反応媒体を製造する方法において

(a) アルミニウム、マグネシウムおよび／またはチタンの酸化物もしくは(オキシ)水酸化物またはこれらをエージングおよび脱水したその後の生成物を、 Fe(OH)_2 を含む酸化鉄および／またはオキシ水酸化鉄の水性懸濁液に混入し、かつ次いで

(b1) 該懸濁液を乾燥させて固体の状態が得られ、かつ固体の材料を引き続き機械的に所望の形状および／または大きさへと粉碎するか、または

(b2) 該懸濁液を場合により前乾燥した後、半固体の状態で機械的に形状付与し、かつ引き続き(さらに)乾燥させて固体の状態が得られることを特徴とする、吸着媒体／反応媒体の製造方法。